

## 地域別の施策の展開方向

### 4 京都都市圏

#### <地域の環境特性>

- ・北山、西山、東山の三山に囲まれ、京都盆地の中央を鴨川が貫流する山紫水明の地であり、京都都市圏の中心部を形成する既成市街地を中心に、町家や打ち水など、自然と共生する生活文化や暮らしの知恵が継承されている。
- ・ヒートアイランド現象や交通渋滞、騒音、光化学スモッグなどの都市型の環境問題が発生している。
- ・NPOや企業、地域などの様々な主体が、環境保全のための活動を活発に展開している。
- ・環境技術に優れた企業や環境に関する知見を有する大学・研究機関が集積している。

#### ■低炭素社会に適応した都市政策の推進

78 公共交通ネットワークの整備を進めるとともに、自動車利用の抑制を促すモビリティ・マネジメント\*などの施策を、地域、学校、企業、観光客など幅広い対象と連携しながら拡大し、移動手段として自動車に依存しない都市づくりを促進します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・公共交通ネットワーク活性化プラン策定	・公共交通ネットワーク活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎダイヤ改善等</li> <li>・乗り継ぎ施設改善</li> <li>・新地域間路線実現調査</li> <li>・公共交通ネットワーク活性化プラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗継ダイヤ情報交換会を開催(中北部地域:3回、丹後地域:1回)</li> <li>・バスロケーションシステム整備へ補助(京阪バス 3営業所管内 180両予定)</li> <li>・鉄道駅舎バリアフリー化へ補助(JR向日町駅)</li> <li>・調査業務を委託(期間:25年2月末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者間のダイヤ情報交換と改善の実現化</li> <li>・事業者及び導入エリアの拡大</li> <li>・補助対象施設の拡充</li> <li>・調査結果の具現化【交通政策課】</li> </ul>
	・交通需要管理推進事業(モビリティ・マネジメント事業)	・同左継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業(従業員)への公共交通機関利用促進奨励</li> <li>・小学校での交通環境学習等</li> <li>・運転免許更新時情報提供</li> <li>・京都大学と連携し、都市交通政策技術者養成研修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良線及びKTR沿線企業従業員を対象としたパンフ配布による動機付けと事後アンケートを実施</li> <li>・亀岡市2校、福知山市1校で出前授業、乗車体験を実施</li> <li>・バスエコファミリーを府内22市町で実施</li> <li>・更新時講習で「かしこい車の使い方」を情報提供</li> <li>・一般コース 5~8月 約30名修了</li> <li>・シニアコース10~1月 約20名修了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より広範囲な地域、企業への働きかけ</li> <li>・環境学習ノウハウの伝授と継続した取り組み</li> <li>・人材育成の継続と修了者の適所への配置と活用【交通政策課】</li> </ul>

番号  
79

・都市圏全体を俯瞰した公共交通ネットワーク、道路ネットワークの整備を促進します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第二外環状道路の建設促進</li> <li>・京都縦貫自動車道(丹波～京丹波わち)の建設促進</li> <li>・新名神高速道路の建設促進</li> <li>・山陰近畿(鳥取豊岡宮津)自動車道の建設促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第二外環状道路の建設促進</li> <li>・京都縦貫自動車道(丹波～京丹波わち)の建設促進</li> <li>・新名神高速道路の建設促進</li> <li>・山陰近畿(鳥取豊岡宮津)自動車道の建設促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都縦貫自動車道 H26供用予定</li> <li>・新名神高速道路「城陽～八幡」H28供用予定、「大津～城陽」・「八幡～高槻」H35供用予定</li> <li>・山陰近畿(鳥取豊岡宮津)自動車道「与謝天橋立～大宮森本」H28供用予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第二外環状道路(15.7km)の供用 H24年度末</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費(予算)の確保</li> </ul> <p>【道路計画課・交通政策課】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通ネットワーク活性化プラン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通ネットワーク活性化事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎダイヤ改善等</li> <li>・乗り継ぎ施設改善</li> <li>・新地域間路線実現調査</li> <li>・公共交通ネットワーク活性化プラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗継ダイヤ情報交換会を開催(中北部地域:3回、丹後地域:1回)</li> <li>・バスロケーションシステム整備へ補助(京阪バス 3営業所管内 180両予定)</li> <li>・鉄道駅舎バリアフリー化へ補助(JR向日町駅)</li> <li>・調査業務を委託(期間:25年2月末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者間のダイヤ情報交換と改善の実現化</li> <li>・事業者及び導入エリアの拡大</li> <li>・補助対象施設の拡充</li> <li>・調査結果の具現化</li> </ul> <p>【道路計画課・交通政策課】</p>

・世界から訪れる観光客が、公共交通機関と電気自動車等のタクシー・レンタカーで回遊できる「エコ観光」の取組を推進します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	京都EV・PHV物語	同左継続	環境にやさしいEV・PHVのタクシー・レンタカーで対象の寺院・神社・食事施設・観光施設等を訪れた方に入園料の割引など様々な優待により「エコ観光」を推進する。	・京都EV・PHV物語 優待施設数：52箇所 (寺院・神社28箇所、食事施設等24箇所)	対象車両及び優待施設の確保  【環境政策課】
	京の七夕事業	同左継続	平和や環境保全の願いを京都から世界に発信する京都ならではの新しい「七夕」をオール京都で実施し、夏の閑散期に多くの観光客を京都に迎え、京都の観光振興を図る。	平成24年8月4日～13日開催 約73万人来場  ・放置竹林の整備 ・京都府内の太陽光発電施設で発電された環境に配慮されたグリーン電力を使用	【観光課】
	京都・花灯路推進事業	同左継続	京都の歴史的文化的遺産をつなぐルートを風情のある灯りで演出し、閑散期における京都への観光誘客を図る。	<嵐山>平成24年12月8日～17日開催 約114万3千人来場  <東山>平成25年3月8日～17日開催 ・京都府内の太陽光発電施設で発電された環境に配慮されたグリーン電力を使用 ・各地域の自然環境・景観を生かした灯りの演出 ・徒歩や公共交通機関による現地回遊をサポートする公式アプリを公開 ・LEDの使用	【観光課】
	京都総合観光案内所運営事業	同左継続	京都府内全域の観光案内、観光情報発信等をワンストップで行う総合観光案内所を、京都駅に府市共同で設置運営。	平成23年度利用者数 779,529人(うち外国人137,519人)  ・観光地までの公共交通機関の案内及び一日乗車券等の販売。	【観光課】
	・KTR10万人拡大事業		・1日乗り放題切符など割安な企画切符の発売による利用者拡大		【交通政策課】
		・KTR日本一プロジェクト推進事業 ・KTR安全快適性向上特別支援事業	・冷房装置更新、内外装リニューアル ・沿線地域のPR映像製作、メディアと連携したプロモーション活動などKTRの魅力発信 ・デザイン車両の導入	・冷房装置更新、リニューアル2両 ・金融機関でのPR映像放映、インターネット、ラジオ、テレビでのPR  ・地域性をテーマにした魅力あるデザイン車両の導入2両(25年3月末予定)	・計画的な整備 ・都市圏への効果的なPRによる誘客  ・地場産品の振興や住民参加など地元との協働による運行 【交通政策課】

81	・ヒートアイランド現象を緩和し、快適かつ環境に優しい都市づくりを実現するため、都市緑化や遮熱性舗装などを促進します。				
	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・建築物等緑化制度の運用	・京都市設置条例施行により対象	・府地球温暖化対策条例に基づき、一定規模以上の建築物について、緑化を義務付け、計画と完了の届け出を提出させている	・23年末 緑化工事完了 257件 54,607㎡	特になし  【自然環境保全課】
・透水性舗装整備計画(H15年度通知)	・透水性舗装整備計画(H15年度通知)	・道路の新設・修繕時に透水性舗装を舗設 ・目標年次等はなし	・H24年度に事業中 25路線(事業延長L=約9800m)	・特になし  【道路管理課】	

82	・町家など、古くからの暮らしの知恵・技術が今日に引き継がれている家屋や街並みの保全に向けた取組を促進します。				
	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・地域力再生プロジェクト支援事業交付金により、地域住民が協働して自主的に取り組まれる地域の課題解決や魅力向上の活動の一部として、環境保全や子育て支援などの様々な活動を支援	・地域力再生プロジェクト支援事業交付金により、地域住民が協働して自主的に取り組まれる地域の課題解決や魅力向上の活動の一部として、環境保全や子育て支援などの様々な活動を支援	・地域住民が協働して自主的に取り組まれる環境保全や子育て支援などの活動を支援 公共サービス活動 対象事業費の1/3 (上限額100万円)を補助 のほか、活動の状況に応じて支援	・地域力再生プロジェクト支援事業交付金全体の実績 23年度実績 830件 交付額 205,851千円 24年度 第1回交付決定状況 340件 交付額 121,716千円 (第2回分は集計中)	・これまでの6年間の実績を踏まえ、平成25年度からサードステージとして制度の改正を予定  【府民力推進課】

■自然と共生する新しいライフスタイルの提案

83	・NPOや企業、様々な地域の団体等と連携して、自然を暮らしの中に取り入れる知恵や長い歴史の中で培われてきた文化的蓄積を活かした新しいライフスタイルを全国・世界に提案し発信します。				
	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・建築物等緑化・緑の府庁づくり事業	・同左継続	・街の緑化を推進するため、府庁2号館屋上に芝生の庭園を整備。見学者に開放し、ゴーヤのカーテン、草花や野菜をボランティアと協働で栽培することなど、各自の生活の中で取り組んでもらえるよう広報啓発を実施。	・開庁日は開放、春と秋に休日特別公開 23年度来訪者1,227人	・個人の家庭における実際の普及 ・関係団体等との連携模索  【自然環境保全課】

84	・「KYOTO地球環境の殿堂」や「京都環境文化学術フォーラム」を通じて、京都議定書の意義と精神を次代に継承するとともに、自然と文化を基軸とした新しい社会のあり方についての議論を深め、世界へ発信します。				
	平成23年度 環境京都発信事業	平成24年度 ・同左継続	事業概要及び関連計画等 「KYOTO地球環境の殿堂」、「京都環境文化学術フォーラム」の開催	直近の取組の実績(進捗状況)等 「KYOTO地球環境の殿堂」 殿堂入り者 ・H23:2名 ・H24:3名 表彰式開催 ・H23:平成24年2月12日 ・H24:平成25年2月17日(予定) 「京都環境文化学術フォーラム」開催 ・H23 平成24年2月11日・12日 ・H24 平成25年2月16日・17日(予定)	今後の課題等 【地球温暖化対策課】

■大学・企業等の力を結集した先端環境技術の開発促進

85	・地球環境に貢献し、京都経済を牽引する低炭素型産業の創出と育成を図り、新世代電池、太陽光・風力・バイオマス等の新エネルギーをはじめとする環境対応技術の研究・開発・産業化のグローバル拠点の形成を目指します。				
	平成23年度 ・グローバル産学官連携拠点推進事業	平成24年度 ・同左継続	事業概要及び関連計画等 ・京都産学公連携機構を核として、京都の知恵を結集した低炭素社会に貢献する環境・エネルギー分野等の世界的拠点を形成するとともに、高度技術人材の輩出、関連産業の振興を図る。	直近の取組の実績(進捗状況)等 ・環境・エネルギー分野の研究開発プロジェクト形成支援 ・中小企業のイノベーション人材の育成計画の作成 ・支援コーディネータ人材の高度化、ネットワーク化支援	今後の課題等 ・本事業は24年度に終了。成果を活かした産学公連携による事業の展開 【ものづくり推進課】